

SDI リバセルフキュア

【禁忌・禁止】

本材又はグラスアイオノマーセメントに対して、発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

*【形状・構造及び原理等】

1. 構成



2. 作動原理

フルオロアルミノシリケートガラスとアルケノ酸水溶液との反応により硬化する。

3. 原材料

性状	成分
粉	アルミノシリケートガラス、ポリアクリル酸、着色材
液	ポリアクリル酸、酒石酸、その他

4. 包装

セット : パウダー、リキッド 各1
単品 : パウダー 15 g 1個
リキッド 8 g 1本

5. その他仕様

JIS T 6609-1:2005 歯科用ウォーターベースセメントー第1部 : 粉液型酸一塩基性セメントに準拠する。

【使用目的又は効果】

口腔内での歯の高洞・欠損の充填（成形修復）又は人工歯冠の修復に用いる。

【使用方法等】

〔使用方法〕

- 窩洞形成
通法に従い、窩洞形成を行う。
- 歯面処理
リン酸 37%含有のエッチング材（一般的名称「歯科用エッチング材」）を添付文書に従い塗布する。適用時間、水洗、乾燥処理は製品の使用方法に従うこと。
- 粉液の計量（標準粉/液比は、3.3 : 1）
粉計量スプーン 1 杯分に対し、液 1 滴を取る。
- 練和
練和紙の上に所定量の粉末と液を採取し、プラスチックパチュラを用いて粉を 2 等分し、液の中へ 1/2 を加えて約 10 秒練和し、残りの粉を加えて 15~20 秒練和する。
練和温度条件 : 23±1℃
練和時間 : 30 秒
操作時間 : 練和開始から 2 分
硬化時間 : 練和開始から 5 分
- 充填
予め水洗い、乾燥した歯牙の窩洞に練和物をインストールメント等を用いて充填し、形態を整えます。
- 防湿
バーニッシュ等を塗布し、防湿する。製品の使用方法に従うこと。

7) 研磨

修整、研磨は練和開始から 6 分後に通法により行う。

〔使用方法等に関連する使用上の注意〕

- 1) 本材は、標準粉液比（標準粉/液比は、3.3 : 1）で使用する。
- 2) 他の製品と混用しないこと。
- 3) 本材は 20~25℃のもとでの使用を基本とすること。操作温度が高いと操作時間は短縮し、また、操作温度が低いと操作時間が延長するので注意すること。
- 4) 覆髄を必要とする場合は、水酸化カルシウム製剤等を用いること。
- 5) 歯面処理材は、各製品の添付文書の使用方法、注意事項等を確認してから使用すること。
- 6) 粉の計量の際は、容器を振るなどして粉末をよくほぐしてから、計量スプーンですくようにして計量し、すり切って採取すること。
- 7) 液の滴下計量は、容器を逆さにして、気泡を抜いてから行うこと。
- 8) 正しい計量のために、液容器のノズルに付着した液は、湿ったガーゼなどで拭き取る。
- 9) 粉と液の容器は、使用后すぐに密栓すること。特に粉は、湿気に触れないように注意すること。
- 10) 被着面が唾液で汚染された場合には、再度水洗、乾燥を行うこと。
- 11) サホライドや知覚過敏抑制材を塗布した歯面への使用では、十分な接着力が得られない場合があるので、留意して使用すること。

【使用上の注意】

重要な基本的注意

- 1) 本材の使用により、発疹、皮膚炎などの過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診察を受けさせること。
- 2) 液及び練和物が、ラバーダムを使用するなど、口腔軟組織や皮膚などに付着しないよう注意すること。付着した場合には、すぐにアルコール綿などで拭き取り、流水で洗浄すること。万一目に入った場合には、すぐに大量の流水で洗浄し、眼科医の診察を受けさせること。
- 3) 本材の未硬化物は、直接素手で触れないこと。未硬化物に触れる場合は、接触による過敏症を防ぐために、プラスチック手袋、ゴム手袋等を着用すること。
- 4) 本剤の色調は VITA 社シェードガイドに順ずる。

【保管方法及び有効期間等】

〔保管方法〕

- 1) 本材は、直射日光、高温多湿を避け、4~30℃で保管すること。
- 2) 本材は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

〔有効期間〕

本材は容器に記載の使用期限までに使用すること〔自己認証（製造所データ）による〕。
〔記載の使用期限は、製造所データによる〕
〔※例〕 20YY-MM は→使用期限 20YY 年 MM 月を示す〕

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 : 株式会社 歯愛メディカル
住所 : 石川県白山市鹿島町 1-9-1
電話番号 : 076-278-8800

製造業者 : SDI Limited (エスディーアイ社)
製造国 : オーストラリア